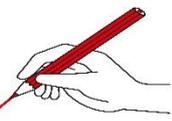


Move Mountains

5年生通信

11月27日78号



○「打ち上げ花火」にしない

「打ち上げ花火」は、観客として楽しめば十分です。いちいち感想を書いたり、振り返ったりする必要はありません。

学校行事を「打ち上げ花火」にしてしまっただけでは非常にもったいない、というか意味がなくなってしまうと思っています。

スポーツフェスティバル、強歩会、そしてビブリオバトル。行事が目白押しでした。

スポーツフェスティバルであれば、動きを合わせる（協力すること）、計画的に練習を積み重ねること、人前で何かを表現すること。

強歩会であれば、諦めないこと、歩みを止めないこと、粘り強く取り組むこと、やってみればできること。

ビブリオバトルでは、読書すること、短くまとめること、人に伝えること、練習すること。

今後の学校生活にも、人生にも活用できることが他にもあるでしょう。

ビブリオバトルの日の振り返りがすごいことになっていました。（他の行事の日には、振り返る時間がとれませんし、後日しても薄いものになってしまうのでやっていません。）

- ・今日のビブリオバトル決勝は、みんなレベルが高くて誰が1位か分からなかった。
- ・自分的には、みんな一位でいいくらいクオリティ良かったし、本も読みたくなりました。
- ・決勝で、僕とレベルがちがすぎてすごかった。
- ・みんなすごくて、誰が優勝してもおかしくない！！
- ・自分と予選突破した人を比べたら、程遠いなーと思いました。
- ・みんなすごかったです。迫力もめっちゃすごかったです。

さて、結果です。

何と3人が同率で一位でした。

43名が投票して、3人が同点です。私たちも驚きました。

スプレッドシートの計算式がどこか間違っている可能性を考慮して、確認に時間がかかっていたことが当日発表できなかった原因です。

「全校の前で表彰」は、終業式に元々予定されていましたが、「**全校の前で発表**」は、クオリティの高さから急きよ理事長の決定で行うものです。

自分と比較して、「すごかったなあ」で終わりにしてはこの行事の意味がなくなってしまいます。

人前で発表する機会はビブリオバトルだけではないですよ。

長い人生で見れば、ビブリオバトルで勝つことは目的ではありませんよね。

発表が上手になりたい、そのために練習を重ねる必要がある、3分の発表の練習なら隙間時間でできる、他のものでも紹介する時に役立つ、言語化の練習になる…。

ぜひ、「すごい」と思ったことから学び取り、生かして行ってほしいと思っています。

人生で、チャンスはいくらでもありますから。

☆お便りフォームはこちら☆

<https://forms.gle/ndGkDHTYcmB1bWyU9>

